



エポックライト (投光機)

MLT-300LED

取扱説明書

ja

三笠製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してご利用ください。



<http://www.mikasas.com>

701-03404



目 次

1	はじめに	1
2	機能概要	1
3	警告サイン	2
4	安全のための注意事項	2
4.1	一般的な注意事項	
4.2	設置前の注意事項	
4.3	設置の注意事項	
4.4	各部の注意事項	
4.5	運転の注意事項	
4.6	リフティングの注意事項	
4.7	運搬の注意事項	
4.8	保管の注意事項	
4.9	台車タイプに付属する発電機固定ベルトの注意事項	
4.10	ラベルの貼付位置	
5	仕様	11
6	外観図	12
6.1	外観寸法図	
6.2	各部装置名称	
7	基本操作	14
7.1	延長ケーブルの接続	
7.2	三脚型	
7.3	台車型	
8	運転	18
8.1	点灯	
8.2	消灯	
9	保管	19
10	トラブルシューティング	19

1. はじめに

- この取扱説明書は、三笠エポックライト(投光機)の正しい取扱方法、簡単な点検及び手入れについて記載してあります。本機の優れた性能を生かし、お仕事の能率を上げ効果的な作業を進める為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- お読みになった後も必ずお手元に保管し、分からない事があった時には取り出してお読みください。
- エンジンの取扱に関しては、別途エンジン取扱説明書を参照してください。
- 補修部品、パーツリスト、サービスマニュアル及び修理に関しては、販売店・当社各営業所もしくは三笠部品サービスセンターにお問い合わせ下さい。なお、パーツリストは当社ホームページ <http://www.mikasas.com/> の三笠WEBパーツリストでも公開しております。是非ご利用ください。

この取扱説明書に記載されているイラストが、設計変更等により一部実機と異なる場合があります。

2. 機能概要

用 途

三笠エポックライト(投光機)は、目に優しい拡散照明方式を採用した可搬式の照明装置です。夜間工事や屋外の催しものの会場の照明として使用します。夜間の道路工事等で、車やバイクなどのドライバーや通行人がランプを直視しても幻惑されない様、光源の高輝度LEDライトを特殊な光拡散シートで覆い、幻惑に起因する事故を防ぐ拡散照明方式を採用しています。

誤用途・誤使用の警告

投光機(照明装置)以外の用途及び降雨時に使用してはいけません。発電機を使用する場合は単相交流100Vで出力500VA以上のインバーター式発電機を使用してください。

これ以外の発電機を使用した場合、本来の性能が得られない場合や発電機および電源部の故障の原因となります。ライト部(MLT-300LED R)の光拡散カバーを外して使用してはいけません。眼を痛めたり、LEDに直接衝撃が加わると破損の恐れがあります。またLEDライトモジュールは三笠産業(株)指定の純正品以外を使用してはいけません。

構 造

三笠エポックライトの構成は、照明の基となるライト部、商用電源をLEDライト用に変換する電源部、ライト部を保持すると共にフレーム付電源部を装備出来る三脚部、発電機を搭載し電源部とライト部を組み込んだ移動可能な台車部より構成されています。

ファンレス構造ですので、静粛性に優れています。ライトカバーも厚い生地を使用していますので破れにくく、耐紫外線及び耐雨性に優れた材質を使用しています(機体としては、耐雨性では有りません)。

三脚タイプは伸縮可能な三脚により不整地でも簡単にセット出来ます。フレーム付電源部を三脚に吊り下げることにより三脚の安定性が増します。三脚はアルミ製ですので持ち運びに大変便利です。台車タイプは小型防音型発電機0.9 ～ 1.6KVAを搭載可能とし、ライト部は2.8mの高さまで上下調整可能な伸縮自在の三段式ポールを取付けています。作業時にはブレーキペダルで両輪が同時にロックでき、ワンタッチ式アウトリガーにより安定性が増します。ハンドル操作で簡単に移動が可能で、ライト部を外せば積み重ねが可能です。

原 理

発電機もしくは商用電源から供給された単相交流100Vの電気を電源部に接続し、電源部は供給された電気をLEDモジュール用に変換して供給します。LED発光を利用し眩しさを低減する布製のカバーで覆い、光を拡散し照明を行っています。

3. 警告サイン

本取扱説明書および機械に貼付けてあるラベルの  マークは警告サインです。安全上、必ず厳守してください。万一、以下に示した警告サインを守らない場合は、やけど・けが・火災などの重大な損害が発生する恐れがあります。以下の諸注意を充分にご理解いただいた上でご使用ください。

 の各警告サインは、それぞれ次の人体に対する危険があるとの意味を表します。	
 危険	指示を守らないと、死亡または重大な傷害事故が生じる危険が極めて高い場合
 警告	指示を守らないと、死亡または重大な傷害事故が生じる危険があり得る場合
 注意	指示を守らないと、怪我や傷害事故が生じる可能性がある場合
注意	指示を守らないと、物的な損害が発生する可能性がある場合

4. 安全のための注意事項

4.1 一般的な注意事項

警告

- こんな時は作業をしない。
 - 過労や病気などで体調が悪いとき。
 - 医薬品や薬物を服用したとき。
 - 飲酒をしたとき。



注意

- 取扱説明書を良くお読み頂き、正しい取扱で安全に作業を行ってください。
- 発電機の取扱は別紙の発電機の取扱説明書を参照してください。
- 本機の構造を充分理解した上でご使用ください。
- 作業を安全に行うために、防護具(ヘルメット、ゴーグル、安全靴、耳栓等)を着用し、適切な作業服で作業してください。
- 常に本機を点検し、正常であることを確認してから使用してください。
- 機体の貼付銘板(操作方法・警告銘板等)は安全を守るために非常に重要です。機体を清掃し、常に読みやすい状態を保ってください。読み取りにくくなった場合は、新しい銘板に交換してください。
- 幼児や小児等が触れると大変危険です。作業現場内には「立入禁止」の処置や設置方法(場所)に充分注意してください。また、保管方法や保管場所でも触れないように充分注意してください。
- 常に本機を点検し、ネジ類のゆるみや破損や亀裂など、変形や異常が無く、機械が正常であることをよく確認してから運転してください。
- 点検・整備を行う場合は、必ず水平な場所で電源プラグを抜いて行ってください。
 - キャブタイヤコードは磨耗や亀裂などにより導体部が露出していないかを確認してください。キャブタイヤコードは比較的磨耗が激しいので早めに新しい物と交換してください。また、電源のコンセントや差し込みプラグの変形や破損、焼損、コードの接合部の損傷も確認してください。
- 本機に貼付している銘板(操作方法や警告銘板等)は安全を守るために非常に重要です。清掃して常に読みやすい状態を保ってください。読みにくくなった場合は、新しい銘板に交換してください。
- 製造元の許可の無い改造や【誤用途、誤使用の警告】の使用における事故に関して弊社では一切責任を負いません。



4.2 設置前の注意事項

警告

- 設置する場所に電線管や水道管、ガス管などの危険物や障害物がないことを設置前に充分に確認してください。
 - 危険物や障害物があると本機が触れて感電や漏電・ガス漏れなどの恐れがあり事故の原因になります。
- 設置する場所は、いつもきれいに保ってください。
 - 不要な機械や鉄骨、シート、木片などが散乱している場所は、事故の原因になります。設置を行うときは、不要な物は取り除いて整理整頓を励行してください。
- 設置する場所の周囲の状況も考慮してください。
 - 本機は防水性を考慮していますが、雨や雪や水しぶきのかかるような場所で使用しないでください。また、水たまり等に浸水させての操作や延長コード等の電源プラグやコンセントが濡れた状態では使用しないでください。
 - 可燃性の液体ガスのある所で使用しないでください。



注意

- 発電機を使用する場合の騒音防止規制について
 - 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用してください。また、状況に応じて遮音壁などを設けて作業してください。

危険

ご使用前に次のことを確認してください。下記項目については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

- コードを点検して磨耗や亀裂等により導体部が露出していないかを点検してください。導体部が露出していると感電やショート(短絡)による傷害や火災の原因になります。
- 使用電源の確認
 - 三笠エボックライト(投光機)は本機電源にインバーター式発電機または商用電源を使用してください。その他の発電機に直接接続されますと光のチラつきや寿命の低下などの原因になります。
 - 出力に余裕のある発電機を使用してください。始動時に余裕のある電流がないと発電機の寿命が短くなるとともに、LEDモジュールの消灯等の原因になります。
- 漏電しゃ断器の確認
 - 本機は電圧が100Vの単相電源を使用します。電源が発電機以外の場合は漏電しますと大変危険ですので、商用電源の場合は必ず漏電ブレーカーを使用してください。



警告

- 電源プラグとコンセントの組付けの確認
 - 本機の電源プラグと延長コードや電源コンセントまでの接続部が完全に組付けてあるかを確認してください。
 - 電源プラグを電源コンセントに差し込んだときにガタつきがあったり、抜けやすい場合は修理が必要です。そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。
- 本機コネクター部の組付けの確認
 - ライト部と延長ケーブル及び延長ケーブルと電源部との接続コネクターが完全に組み付けられている事を確認してください。



注 意

● 継ぎ(延長)コードについて

- 延長する場合は商用電源と電源部の間をコードリールなどを使用してください。
- 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。
- 延長のキャブタイヤコードは許容電流以上のものをご使用ください。
- 電源の位置が離れていて継ぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。
- コードが長くなりますと、それに比例して電圧が低下して本機の起動および出力が低下いたします。
- 電源部とライト間は延長しないでください。

⚠ 注意

● 発電機の設置場所

- 発電機の設置場所は安定した雨や水のかからない所を選んでください。発電機内部やコンセントなどに水が浸入すると、漏電の原因になります。
- エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素などの成分が含まれています。屋内やトンネル内など換気の悪い場所では、エンジンを運転してはいけません。また、運転中は運転者以外にも周囲の人や動植物などにも排気ガスの影響がないように充分注意してください。

● 周囲の温度の確認

- 周囲温度-40℃～50℃の場所で使用してください。温度範囲外で使用すると電源ユニットの寿命が著しく短くなります。



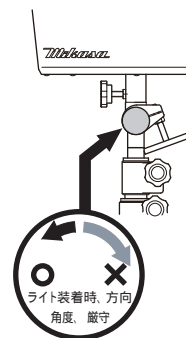
4.3 設置の注意事項

⚠ 危険

- 投光機本体が転倒して破損する恐れがありますので、不安定な場所に三脚を設置しないでください。
- 三脚は、全箇所のグリップボルトとノブをしっかりと締めてください。怠るとライト部やポール部が落下してけがや破損の恐れがあります。
- 三脚は、強風時(風速7m/s以上)は、使用しないでください。使用すると投光機が転倒して大事故になる恐れがあります。風速7m/sとは、傘がさしにくく風に向かって歩きにくい状態です。
- 台車タイプは、強風時(風速15m/s以上)では使用しないでください。
- 台車タイプは、移動・転倒防止のために必ず駐車ブレーキを掛けてください。また、必ず車輪に輪止めして動かないように固定してください。
- 台車タイプは、転倒防止のため使用時に必ずアウトリガーを出してロックしてください。
- 台車タイプは、設置場所によって転倒する恐れがありますので、安全のためにロープや枕木による固定を行ってください。
- ライトの傾け方向は、本体シールの指示に従ってください。ライトを取り付けた状態で×方向に倒さないでください。(右図参考)

⚠ 注意

- 組立時や高さ調整中は、手などをはさまないように注意してください。
- 安全のために、三脚の使用時は必ず脚部に電源部を吊り下げて、さらに砂袋などの重量物を縛り付けて固定してください。
- 発電機搭載時の台車タイプは、必ずベルトを台車下に通して発電機本体と台車をしっかりと固定してください。
- 台車タイプは、転倒防止ために傾斜地や軟弱地盤での使用を避けて平坦な場所に設置してください。
- 台車タイプは、発電機を搭載しないで使用する場合は不安定になるので、発電機と同等の重さがある安全な物を積んでください。



4.4 各部の注意事項

ライト部

⚠ 危険

- 点灯中及び消灯直後のLEDモジュールは高温です。手などを触れると火傷をする恐れがあります。LEDモジュールの交換などは冷えてから行ってください。
- LEDモジュールは水分が付着すると感電する恐れがあります。
- LEDモジュールが不点灯や破損した場合は、直ちに電源を切って修理を依頼してください。そのまま放置すると危険です。
- LEDモジュールの交換や清掃は、必ず電源を切って行ってください。切らないと感電する危険があります。



⚠ 注意

- 必ず指定の純正LEDモジュールに交換してください。
- LEDモジュールは、三笠産業(株)純正(50W)です。他のLEDモジュールは発熱、火災、破損等の危険があります。
- 周囲温度は-40～+50℃の範囲でご使用ください。
- LEDモジュールの交換は、消灯後に充分冷やしてから、作業やライト部が乾燥した状態で行ってください。交換時にLEDモジュールが汚れたり、濡れないよう充分注意してください。

電源部

⚠ 危険

- 電源部は、3～5年に一回は定期的に点検を行ってください。
 - 寿命末期になると絶縁物が劣化しますので、漏電や感電もしくは火災の原因になる可能性があります。
- 電源ユニットを分解・改造してはいけません。

⚠ 注意

- 電源ユニットは、純正品を使用してください。
 - 適合した電源ユニットを使用しないとLEDの不点灯や破損する恐れがあります。
- 電源部は、出来るだけ高温の場所での使用を避けてください。電源ユニットは使用条件により寿命が短くなります。

ライトカバー

⚠ 危険

- 必ずライトカバーを取付けた状態で点灯してください。
- 点灯中並びに消灯直後のLEDモジュールは高温なので火傷をする恐れがあります。
- ライトカバーは、火気や鋭利なものを近づけて破らないでください。
ライトカバーが破れた状態で使用すると、異物の侵入や水分が付着して故障の原因になります。



収納カバー

⚠ 注意

- ライト部の温度が下がってから収納してください。
消灯直後のLEDモジュールは高温のため、必ずライト部の温度が下がってから収納袋に収納してください。
- 未使用時は泥や汚れを落とし、収納カバーを被せて保管してください。

⚠ 注意

- ライトカバーは消耗品です。日照下での放置並びに風雨など、使用される状況により劣化が早まる場合があります。
- 点灯中にライトカバーを押したり叩いたりしないでください。
- 使用しない時は泥や汚れを落として保管してください。

発電機

⚠ 危険

- 燃料を補給する時は必ずエンジンを停止させ、エンジンがよく冷えてから入れてください。燃料に引火して火傷や爆発など重大な事故に繋がる可能性があります。
- 燃料を補給する時は、周囲に可燃物が無い場所を選び、絶対に火気を近付けてはいけません。
- 補給時に燃料をこぼさないように注意してください。もしこぼれたら良く拭き取ってください。
- 燃料は規定量を守ってください。口元一杯まで入れ過ぎると、あふれる可能性があります危険です。
- 給油が終わったら燃料タンクキャップはしっかり締めてください。燃料タンクキャップが緩んでいると、燃料がこぼれ、火災の原因になります。
- 燃料が皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と水でよく洗ってください。衣類についた場合は、引火の危険性があるので着替えてください。



⚠ 警告

- 燃料を誤って飲み込んだり目に入った場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

- 出力に余裕のあるインバーター式発電機を使用してください。始動時の電流に対して余裕が無いと、発電機の寿命が短くなるとともに、LEDライトの不点灯または故障の原因になります。
(発電機出力900VAの場合、MLT-300LED×2台点灯可能)
- 発電機によっては、マッチングの問題により、LEDライトが点灯しない場合があります。
- 発電機の取扱注意事項を守ってください。詳細はご使用される発電機の取扱説明書を参照してください。



台車

⚠ 危険

- 設置に関する取扱い注意
 - 転倒防止のために傾斜地や軟弱地盤での使用を避け、平坦な場所に設置してください。
 - 発電機搭載時は必ずベルトを台車の下に通し、発電機本体と台車をしっかりと固定してください。
 - 台車の移動防止のために駐車ブレーキをかけてください。また車輪に必ず輪止めも使用してください。
 - 転倒防止のため、使用時は必ずアウトリガーを出してロックしてください。
 - 設置場所によっては転倒する恐れがありますので、安全のためにロープや枕木による固定を行ってください。

⚠ 注意

- 発電機を搭載しないで使用する場合は不安定になるので、発電機と同等の重さがある安全な物を積んでください。

⚠ 危険

● 運搬に関する取扱いについて

- 運搬時の事故や破損を防ぐために、駐車ブレーキを掛けてロープなどでしっかり荷台に固定して移動しないようにしてください。
- ポールを伸ばしたまま移動・運搬すると傷害物に衝突して転倒・事故・故障・破損する恐れがあります。車両で運搬する場合は、完全にポールを下げて収納状態で運搬してください。
- 傾斜地では、投光機が操作不能になり人に衝突し大事故につながる恐れがあります。
※ブレーキ解除の状態で投光機が移動してしまう場所では、投光機が動かないよう十分に注意してください。また操作不能になる場所では、人による移動を行わずに車両にて運搬してください。
- 運搬中に発電機が落下して破損する恐れがあります。また、他の車両の事故につながりますので、運搬時は固定バンドで荷台にしっかりと固定してください。

● リフティングに関する取扱いについて

- 本機を吊り上げる際に、ネジなど部品の脱落により本機が落下する恐れがあります。リフティングする際は指定の吊り上げ箇所を使用し、ライト部や電源部に強い衝撃が加わらないようにしてください。

⚠ 注意

● リフティングに関する取扱いについて

- 積み下ろしは必ず2人以上で行ってください。
- クレーンが有る場合は、クレーンを使用して一点吊りフックを利用し真っ直ぐ上に衝撃をかけないように吊り上げてください。
- クレーンによる積み下ろし作業は資格が必要です。クレーンの運転や玉掛け作業資格の有る人が行なってください。

⚠ 危険

● 保管に関する取扱いについて

- 2段より多く積み重ねると不安定になり、落下などの重大な事故になる恐れがあります。積み重ねる時は2段までにしてください。

4.5 運転の注意事項

⚠ 危険

- 濡れた状態で操作しないでください。
 - 投光機は、操作する際に濡れた状態で行うと、漏電等の故障になるばかりでなく感電する恐れがあります。
- 作動中は、端子部に触れないでください。
 - 作動中は、端子部に触れないでください。感電の恐れがあります。
- 点灯中および消灯直後のLEDモジュールやライトカバーは高温です。やけどの恐れがありますので、十分に気をつけてください。

⚠ 注意

● 発電機使用時

- 発電機に投光機以外の電気器具を接続すると、投光機に必要な電気容量を確保できない恐れがあります。
- 発電機のオイルや燃料を確認してください。
- 電源プラグを差し込んだまま発電機の始動や停止をしないでください。
電源プラグを差し込んだまま エンジンの始動や停止を行うと、発電機が故障する原因となります。
- 電源プラグを抜いた状態で発電機を始動してください。

注意

● 発電機使用時

電源プラグを発電機のコンセントに差し込んだままで発電機の始動や停止をしないでください。

- プラグを差し込んだまま エンジンの始動や停止を行うと、発電機が故障する原因となります。
- 始動直後および停止時の発電機は、状態が不安定です。発電機の電圧が安定するまで電源プラグを差し込まないでください。また電源プラグを抜いてから発電機のエンジンを停止してください。
- ライト点灯中に他の機器を接続しないでください。消灯などの原因になります。

4.6 リフティングの注意事項

クレーンによる積み下ろし作業は資格が必要です。クレーンの運転・玉掛け作業の資格がある人が行ってください。

危険

● 台車でのリフティングは、下記に注意してください。

- 積み下ろしは必ず2人以上で行ってください。
- クレーンが有る場合は、クレーンを使用して一点吊りフックを利用し、衝撃をかけないようにして、真っ直ぐ上に吊り上げてください。
- 本機を吊り上げる際は、指定の吊り上げ箇所を使用してライト部や電源部に強い衝撃が加わらないようにしてください。

4.7 運搬の注意事項

危険

● 台車の運搬は、しっかり固定してください。

- 運搬中に発電機が落下して、破損する恐れがありますので固定バンドで荷台にしっかりと固定してください。
- 台車は、運搬時に必ず駐車ブレーキを掛けて、ロープなどで移動しないようにしっかりと荷台に固定してください。
- 車両での運搬時は、必ずポールを完全に下げて収納状態にしてください。

注意

● ライト部を取り付けた状態で三脚などを移動する際は必ずライト部を毛布などで保護し、動かないようしっかりと固定してください。ライト部が直接床などに触れないようにしてください。(横倒厳禁)

● 三脚を持ち運ぶ時は、下記に注意してください。

- ポールが伸びないようにグリップボルトを締めてください。
- 三脚の伸縮部を収納し、しっかりとロックしてください。
- 取扱い時に手を挟んだり、落としたりしないでください。

● ライト部や電源部は、強い衝撃が加わると寿命が著しく低下したり、破損したりする恐れがあります。移動・運搬や積み下ろしなどの際は、十分に注意してください。

4.8 保管の注意事項

注意

● 必ず保管前に泥や汚れなどを落とし、金属が擦れ合う部分に注油し、点検・整備してください。

● ライトカバーは消耗品です。使用環境や保管状況などにより劣化が早まる場合があります。作業終了時、泥や汚れを落としライト部に収納カバーを被せて保管してください。

注意

- ライトカバーは布製ですので、火気の近くなど高温になる場所を避けて保管してください。変形したり焦げたり、最悪の場合は火災の原因になる可能性があります。
- 雨ざらしや高温多湿を避けて保管してください。
- 台車は、2 段より多く積み重ねないでください。2 段積みを超える積み重ねは、不安定なため落下しやすくなり危険です。

4.9 台車タイプに付属する発電機固定用ベルトの注意事項

警告

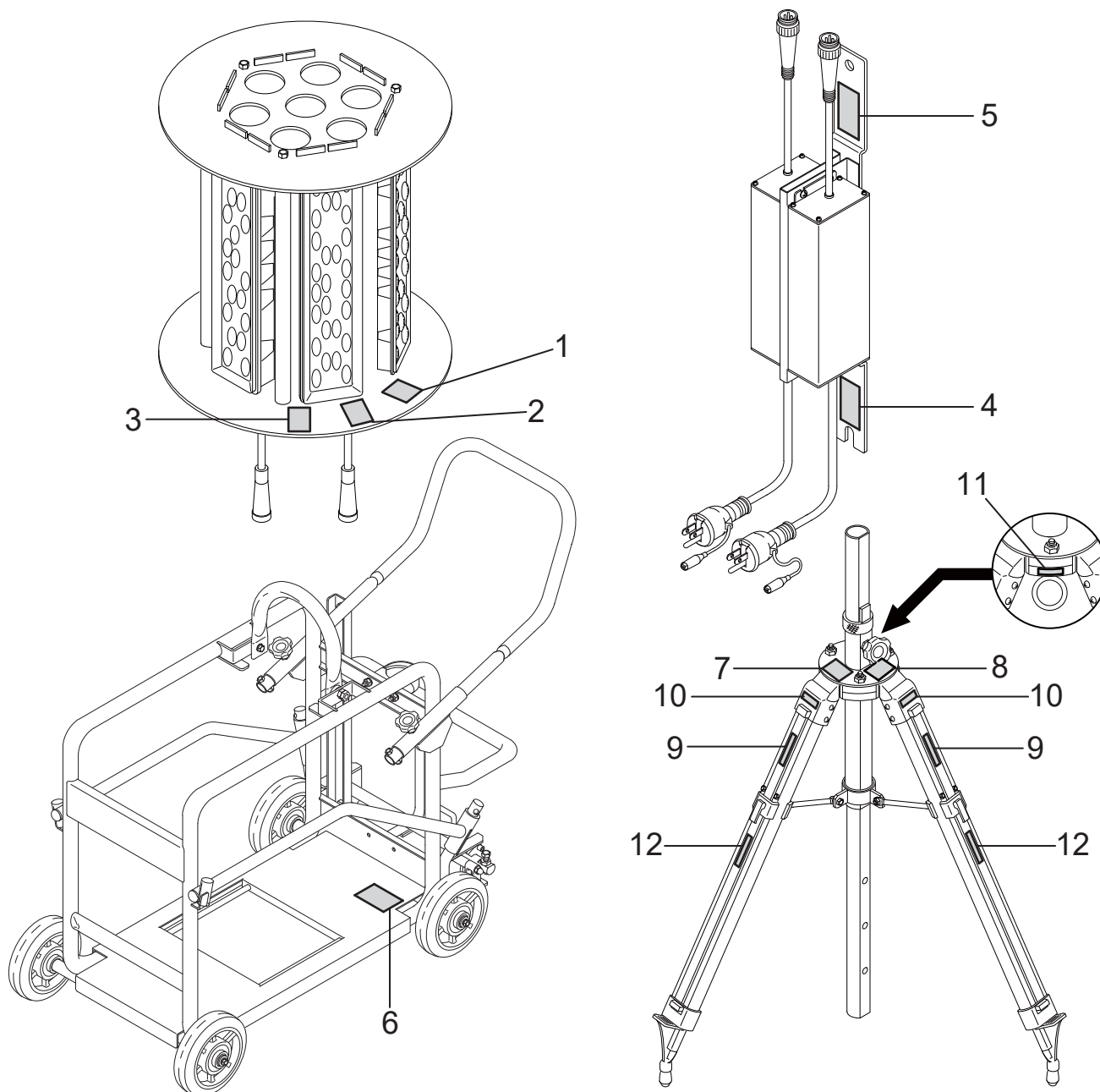
- スリングベルト(吊上げ(下げ))として使用しないでください。吊上げ(下げ)用に使用すると破断する恐れがあります。
- 破断したベルトを繋いで(縛って) 使用しないでください。事故につながり大変危険です。
- ベルトは化学繊維ですので、火気を有する場所や高温下での使用を厳禁します。大変危険です。
- 酸性の強い場所では使用しないでください。破断する恐れがあります。
- 端末金具とベルトの引っ張り方向を常に真っ直ぐにしてください。斜めにすると強度が著しく落ちる恐れがあります。
- 締付けの際、無理に腕力以上のトルクを与えないでください。事故につながり大変危険です。

注意

- 金具類は乱暴に扱わないでください。破損する恐れがあります。
- 始業前には必ず点検してください。

4.10 ラベルの貼付位置

安全のために常にラベルの汚れや破損がないように保ってください。万一破損・紛失した場合は新しいものに貼り直してください。ラベルはお近くの販売店・各営業所・部品サービスセンターにお申しつけください。



番号	部品番号	部品名称	数	銘板番号
1	9201-13390	銘板、製番／MLT-300LEDライト	1	NP-1339
2	9201-11530	銘板、高温注意／MLT-700/300ライト	1	NP-1153
3	9201-11550	銘板、感電注意／MLT-700/300ライ	1	NP-1155
4	9201-13370	銘板、製番／MLT-300LED電源部	1	NP-1337
5	9201-13470	銘板、注意、警告／MLT-300LED台車	1	NP-1347
6	9201-13450	銘板、取扱注意(台車)／MLT-300	1	NP-1345
7	9201-11430	銘板、操作注意／MLT-700/300三脚	1	NP-1143
8	9201-11440	銘板、取扱注意(三脚)／MLT-700	1	NP-1144
9	9201-11490	銘板、固定確認／MLT-700/300三脚	3	NP-1149
10	9201-11500	銘板、三笠ロゴ／MLT-700	3	NP-1150
11	9201-11510	銘板、取付位置／MLT-700/300三脚	1	NP-1151
12	9201-11650	銘板、反射テープ(黄) 18×120	3	NP-1165

5. 仕様

型 式				※1 MLT-300LED-D 台車型電源部付	※1 MLT-300LED-S 三脚型電源部付	※1 MLT-300LED-F 電源部フレーム付
投 光 機	電圧 (V)			単相 100 ～ 240		
	電流 (A)			3.4		
	ラ イ ト 部	種類		LED型 ※2		
		定格電力(W)×モジュール数		50 × 6		
		全光束 (lm)		48000		
		使用可能周囲温度 (℃)		-40 ～ 50		
		角度調整範囲 [可変ネック](度)		0 ～ 45		
	寸 法	最大高さ: H1 (mm)		2800	2800	
		全高: H2 (mm) [ポール収納時]		1266	1820	
		全長: L (mm) [アウトリガー格納時]		1110 [855]	1440	
		全幅: W (mm) [アウトリガー格納時]		1200 [440]	1290	
		コード長さ (m)	入力側	0.6		
			出力側	2.65		
※3 質 量	発電機無し (kg)		41	17	11	
	発電機付き (kg)		55 ※4			
発 電 機	インバーター仕様			出力 0.5kVA 以上		

※1 ライト部(MLT-300R)は別売です。

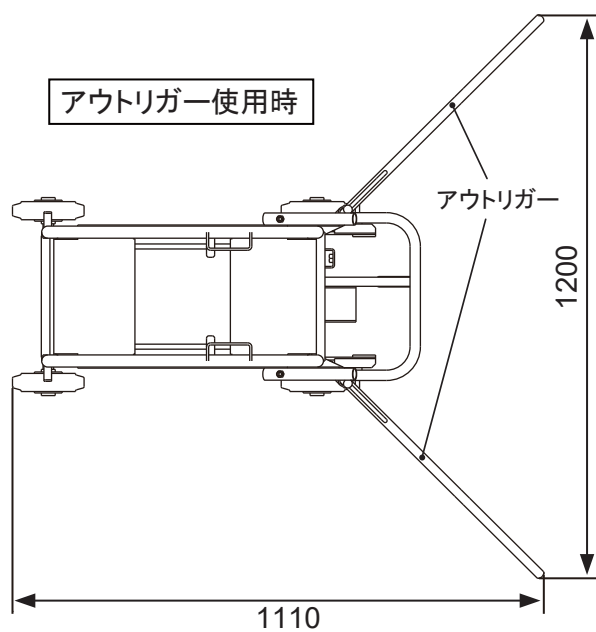
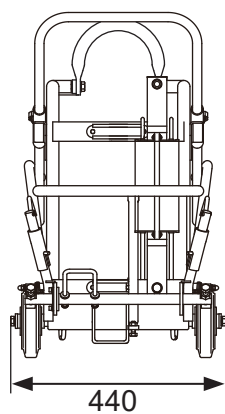
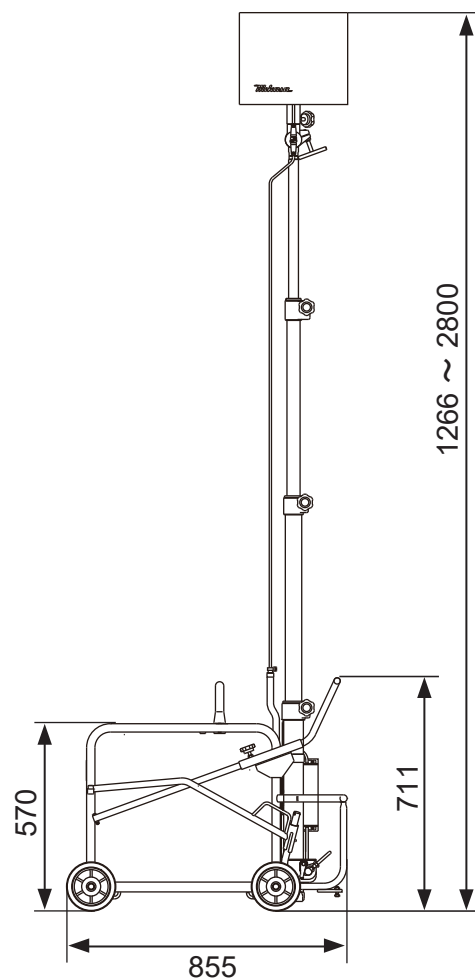
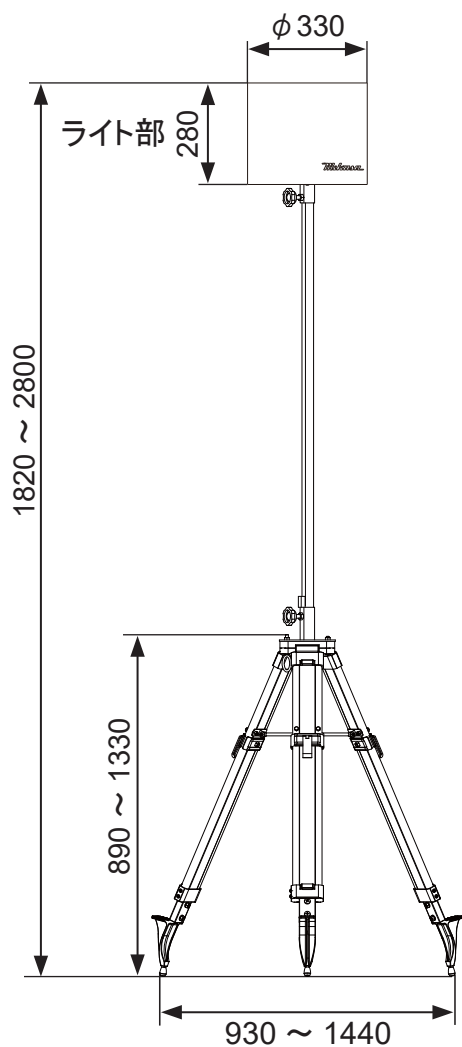
※2 LEDモジュールは、三笠産業(株)の純正品です。他社のLEDモジュールは使用できません。

※3 ライト部を含む質量です。

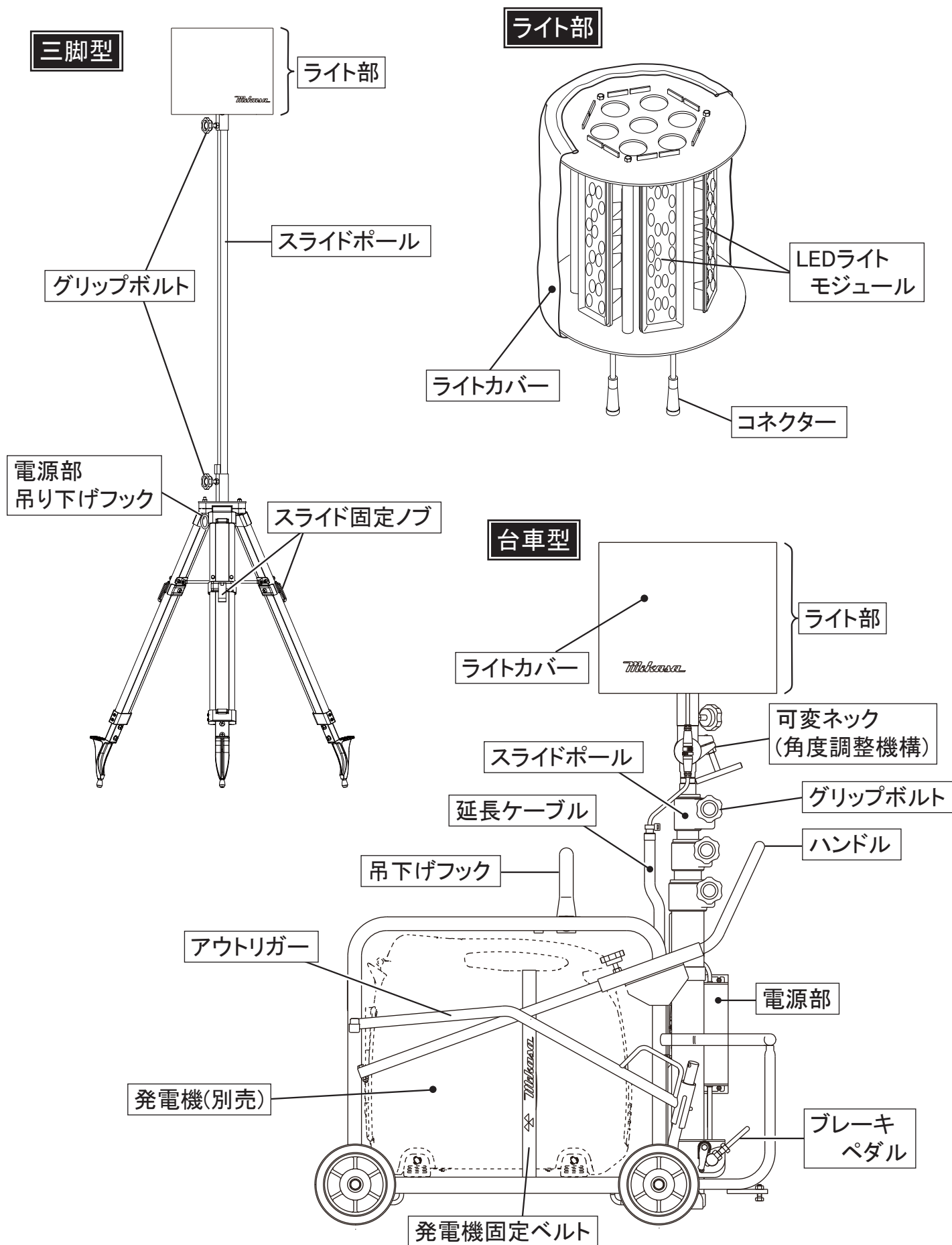
※4 ポータブル発電機(HONDA製小型軽量の正弦波インバーター発電機「EU9i」型)搭載時の参考質量です。

6. 外観図

6.1 外観寸法図



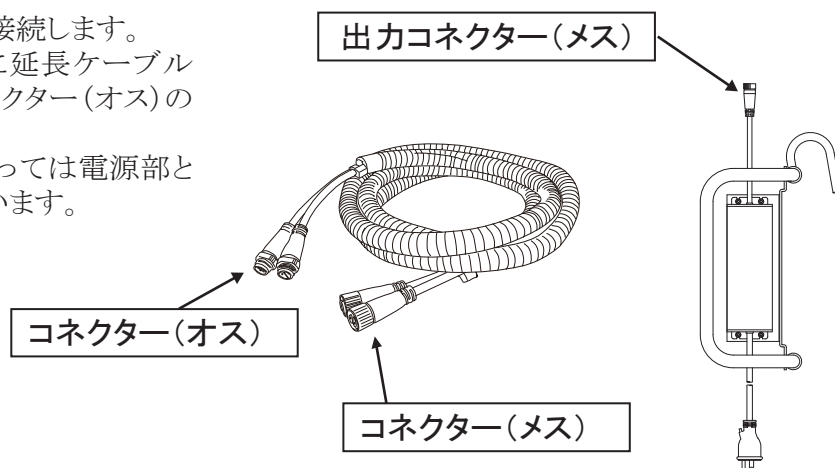
6.2 各部装置名称



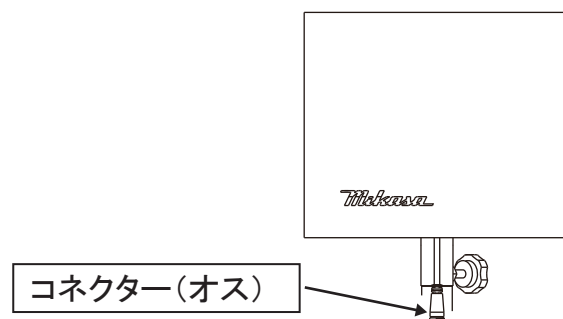
7. 基本操作

7.1 延長ケーブルの接続

1. 電源部に付属の延長ケーブルを接続します。
電源部の出力コネクター(メス)に延長ケーブルの
コネクター(オス)を接続し、コネクター(オス)の
ネジ部を回して締め付けます。
※台車型など電源部の仕様によっては電源部と
延長ケーブルは予め接続されています。

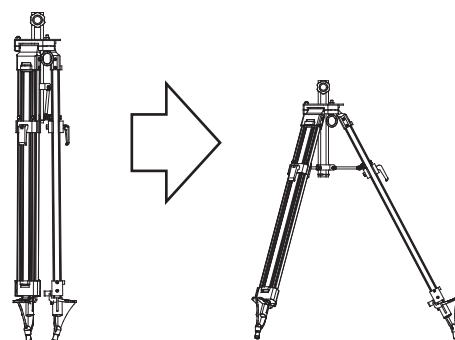
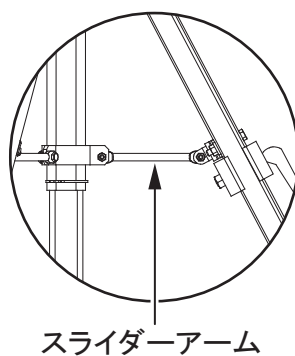


2. 延長ケーブルのコネクター(メス)をライト部のコネクター(オス)に接続し、コネクター(オス)のネジ部を回して締め付けます。

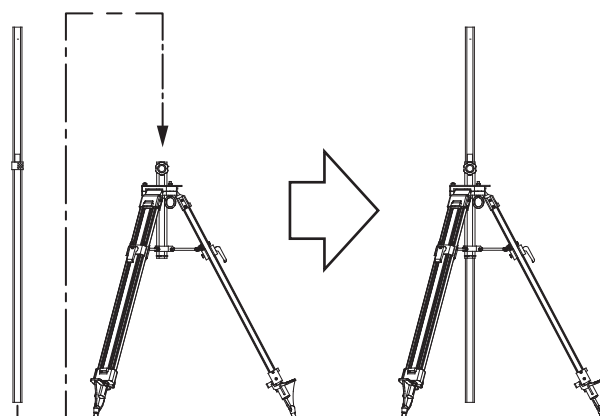
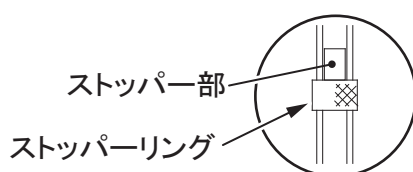


7.2 三脚型

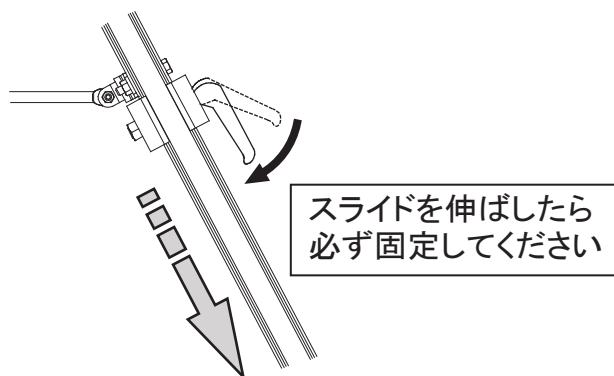
1. 三脚の脚を最大まで広げます。
スライダーアームが水平になるまで広げます。



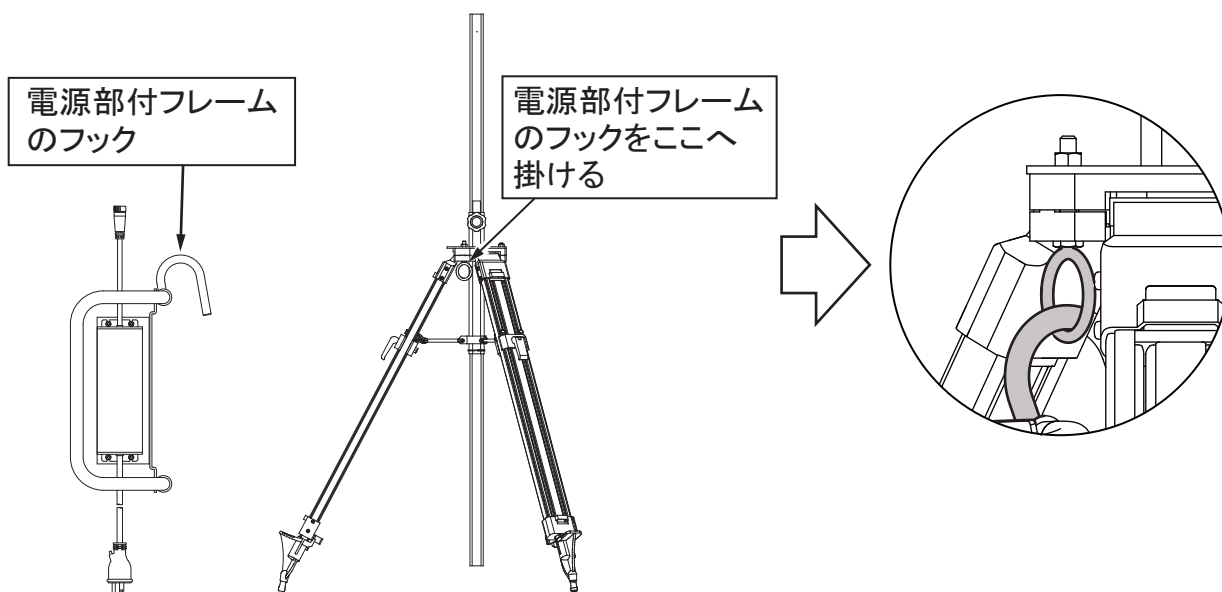
2. スライドポールを三脚に取り付けます。スライドポールの落下防止ストッパー部よりストッパーリングが下になるよう、三脚に取り付けてください。
(スライドポールはストッパー部を基準に見た場合、長い方が下部になります。)



3. 地面が平坦でない場合は、脚のスライドを伸ばして調整してください。（水平にする際は、段差が大きい場所では使用しないでください。転倒の恐れがあります。）



4. 電源部付フレームを三脚のフックに取り付ける。

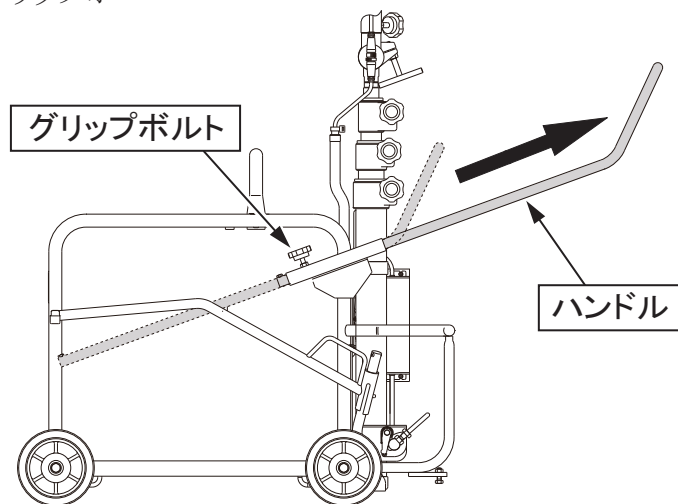


5. ポールを任意の高さに上げる。

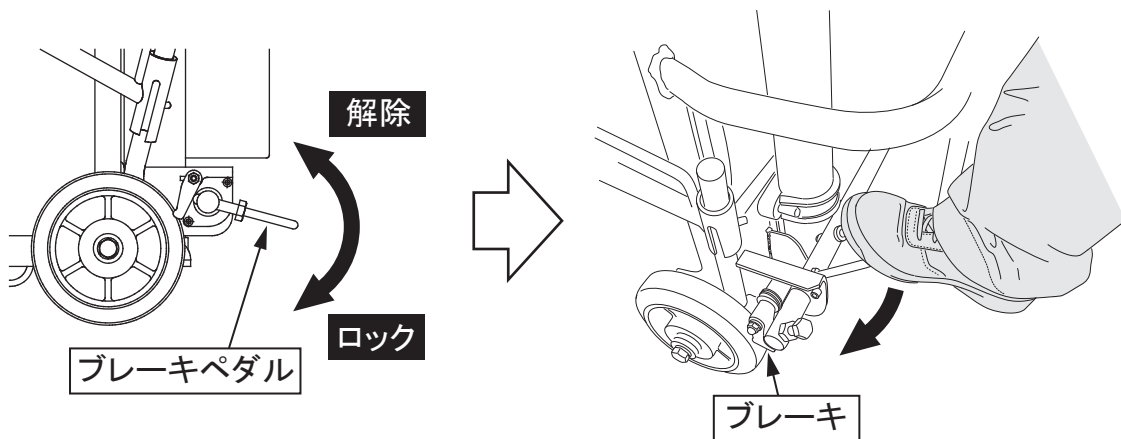


7.3 台車型

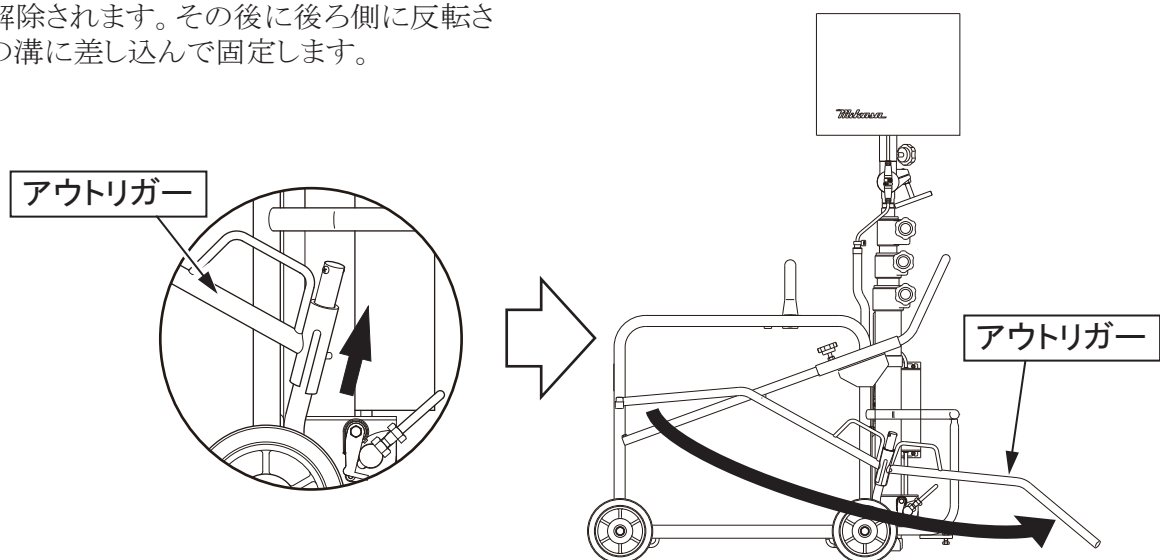
1. 運搬時には、ハンドルを伸ばしてからグリップボルトで固定してから移動してください。



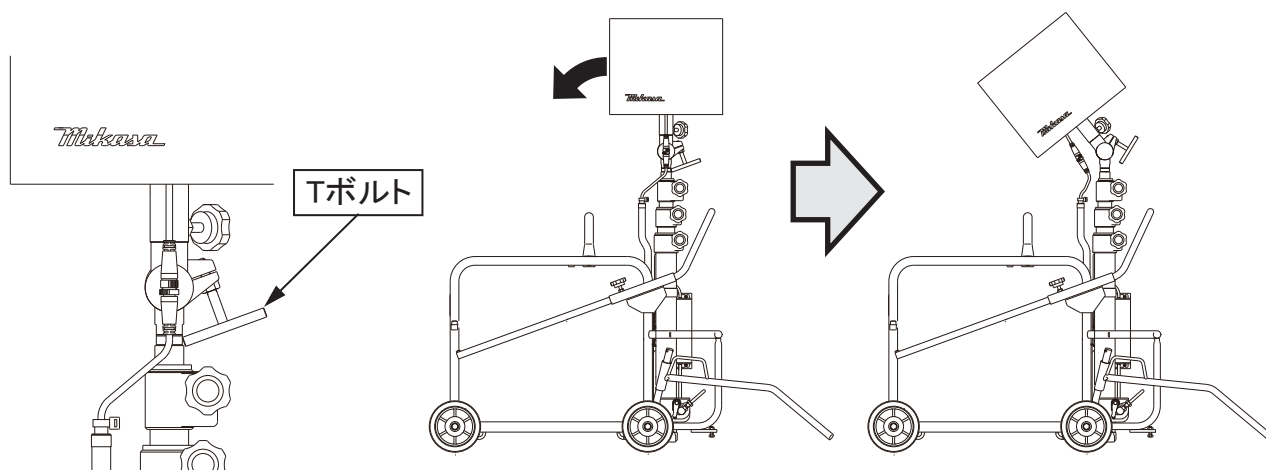
2. 設置場所に運搬したらハンドルを収納してからブレーキペダルを踏んでブレーキを掛けます。



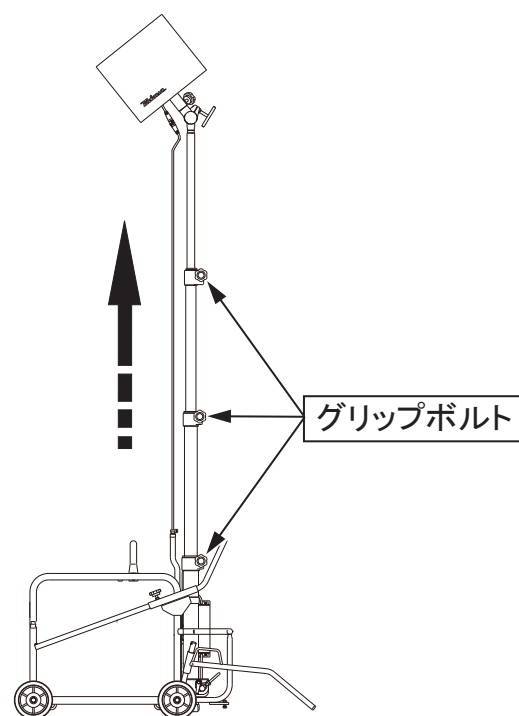
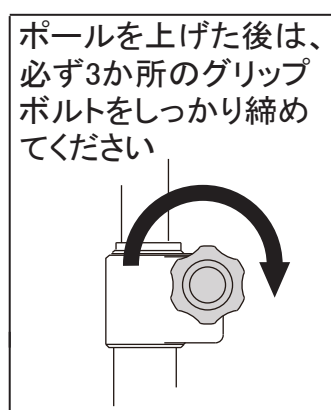
3. アウトリガー（転倒防止機能）を上方に引き上げると固定が解除されます。その後に後ろ側に反転させ、下方の溝に差し込んで固定します。



4. Tボルトを緩めライト部を支えながら角度調整を行い、Tボルトを締めてください。



5. ポールを任意の位置に伸ばし、グリップボルトを締めて固定してください。



8. 運転

8.1 点灯

発電機使用時（詳細は発電機用取扱説明書をお読みください）

- 発電機に投光機以外の電気器具を接続すると投光機に必要な電気容量を確保できないおそれがあります。
- 感電、漏電に注意してください。必ず発電機のアースを取ってください。
- 発電機のオイル、燃料、周波数を確認してください。
- 発電機のスイッチを入れたままで、発電機の始動や停止をしないでください。

発電機のスイッチを入れたままエンジンを始動、停止すると発電機の故障の原因となります。

- 電源部からのプラグを発電機のコンセントに差し込みます。電源部からは2本の電源コード（プラグ）が出ていますので、2本とも差し込んでください。

6個のLEDライトモジュールは3個で一つの電源が必要となります。1本しかコンセントに差し込まない場合は、3個のLEDライトモジュールしか点灯しません。

- 発電機のスイッチをONにします。

100V商用電源(2Pコンセント)使用時

- アース端子を折りたたんで2Pプラグにして、コンセントに差し込んでください。この時に必ずアースクリップでアースを取ってください。
- 電源部からのプラグを発電機のコンセントに差し込みます。電源部からは2本の電源コード（プラグ）が出ていますので、2本とも差し込んでください。

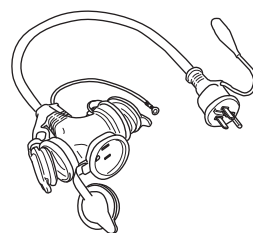
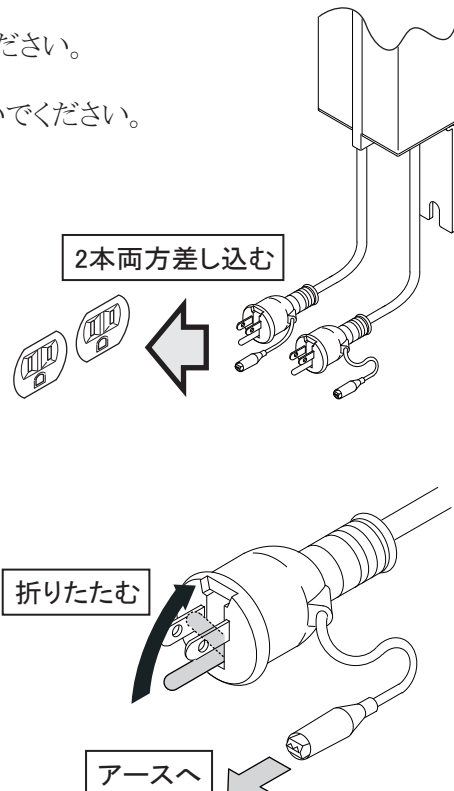
6個のLEDライトモジュールは3個で一つの電源が必要となります。1本しかコンセントに差し込まない場合は、3個のLEDライトモジュールしか点灯しません。

3P0.5m 延長ポッキンの使用時

- 電源部の2本のコードを1つのプラグにまとめたい時に使用してください。
- 電源部のプラグがメスプラグから外れ易い、または電源部のコードがたるむような場合は、3P0.5m 延長ポッキンの使用を避け、電源部のプラグを直接100Vコンセントに差し込むなど、状況によって適切に使用してください。
- 台車タイプに発電機を搭載した場合など、発電機にLED電源部からのプラグを直接接続する方が外れにくくなります。

注 意

- コードが人や運搬車などで踏まれる所には使用しないでください。
- 適切な2ヶ所のメスプラグを選んで電源部のプラグを接続してください。
- 使用しないメスプラグは防雨キャップを確実にかぶせてください。不確実な場合は水が入って感電等の危険があります。
- プラグはきちんと差し込んでください。接触不良で発熱の原因となります。
- 使用しない時はプラグをコンセントから抜いてください。プラグをコンセントから抜く時はコードを引っ張って抜かないでください。斜め抜きはしないでください。



注意

点灯中及び消灯直後のライト部や布は高温です。やけどの恐れがありますので、取扱には充分注意してください。

8.2 消灯

発電機使用時

- 発電機のスイッチをOFFにします。
- 発電機を停止します。

必ず発電機のスイッチを切ってから発電機を停止してください。

100V商用電源(2Pコンセント)使用時

- コンセントからプラグ(2本)を抜きます。

9. 保管

- ライト部が冷えていることを確認してから収納袋に収納してください。
- 泥や汚れを落として、金属部分に注油を行ってください。
- 屋内で安定した場所で保管してください。
- 三脚型を保管する場合は、ライト部と三脚に分けて保管してください。組付けたままで立てた状態で保管すると転倒して危険です。
- ライトカバーを取り外したり交換する場合は、ライト部が冷えていることを確認してから行ってください。

10. トラブルシューティング

現象	確認場所	対策
LEDが点灯しない	電源プラグが確実に差し込まれているか？	電源プラグを差し直す。
	発電機のスイッチが(ON)になっているか？	スイッチを(ON)にする。
	コネクタが緩んでいないか？	確実にねじ込む。
	結線部が外れているところはないか？	該当箇所を修正する。
	発電機に投光機以外の電気器具を接続していないか？	他の機器の接続を外す。
	発電機の電圧は正常か？(無負荷時100V±5V)	電圧を適正にする。
	LEDモジュールの型式は合っているか？	適合品を使用

注意

- 商用電源(100V±5V)に接続しても、症状が変わらない場合は、電源部またはLEDモジュールが原因と考えられますので、すぐ使用を中止してお買い求めの販売店か弊社あてにご連絡ください。
- ご自身での本機の分解や修理は絶対に行わないでください。必ず、修理及び部品の交換はお買い求めの販売店か弊社あてにご連絡ください。

Mikasa

MIKASA SANGYO CO., LTD.

1-4-3, Kanda-Sarugakucho, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0064, Japan

三笠産業株式会社

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1-4-3

修理に関するお問合せ

TEL 048-734-2402 FAX 048-734-7678

部品に関するお問合せ

TEL 048-734-2401 FAX 048-736-6787

その他のお問合せ

info@mikasas.com

Web パーツリスト

<https://www.mikasas.com/MIKASA/index.html>



PRINTED IN JAPAN